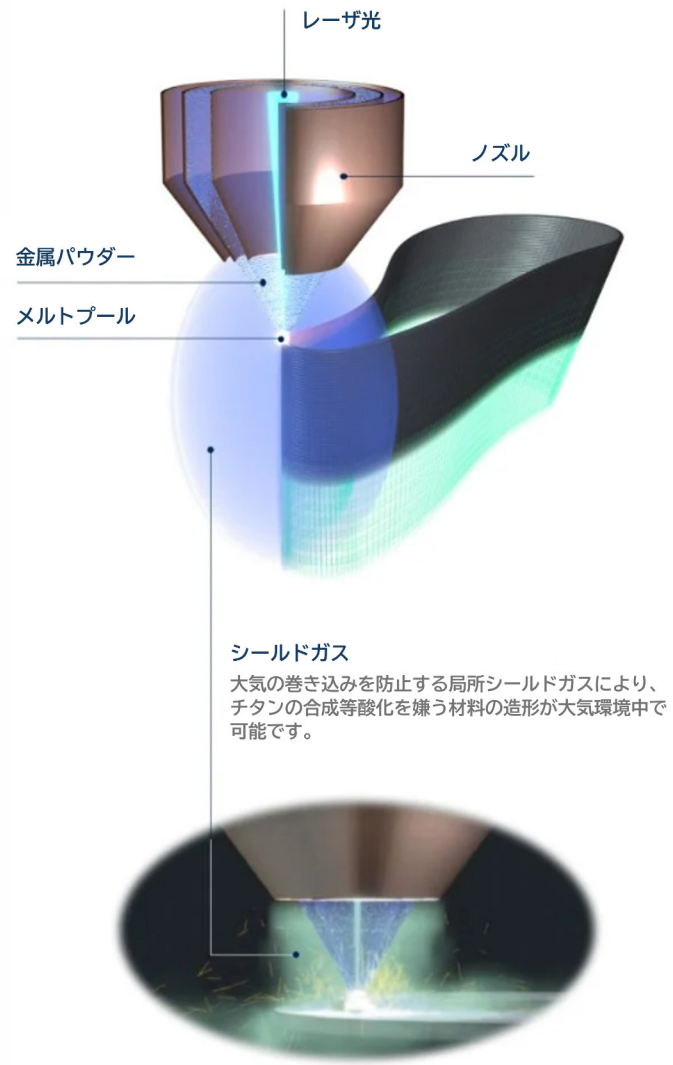
LAMDA特徴

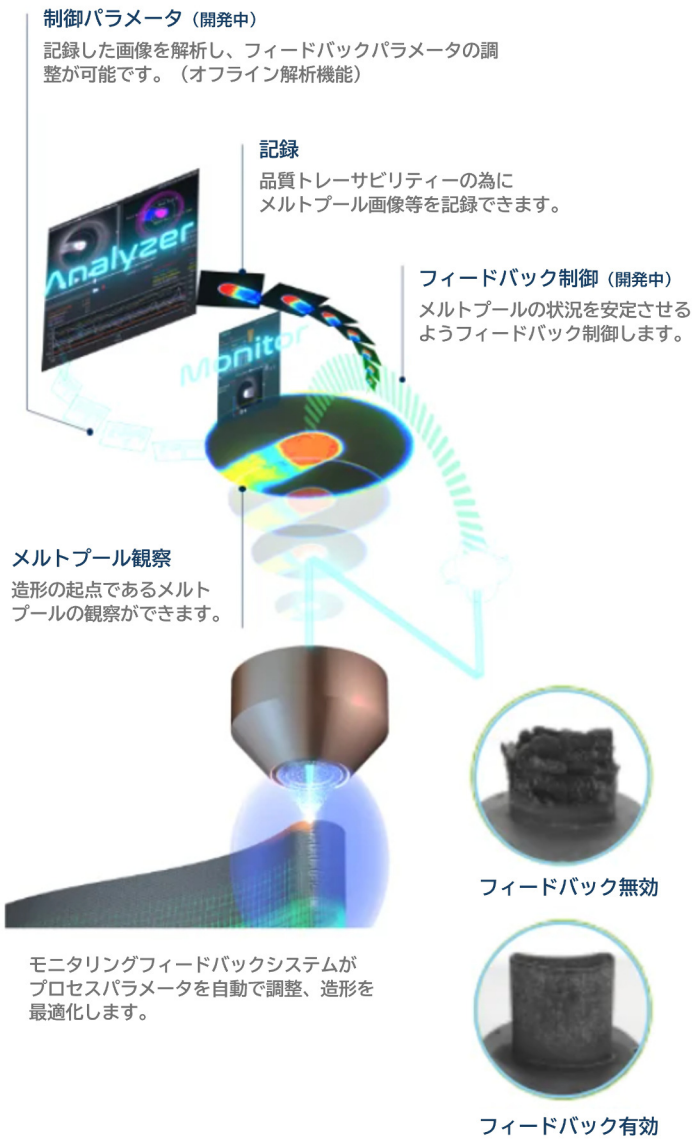
LAMDAシリーズは、パウダDED（指向性エネルギー堆積）方式を採用しており、
レーザー（熱源）をワークに照射し、金属粉末を溶融・凝固させ肉盛りさせています。
後加工と組み合わせて高精度な部品製作にも適応。部品を造形する技術です。

01 ローカルシールド

・大気の巻き込みを防止する局所シールドガスにより
チタン合金等酸化を嫌う材料の造形が大気環境中で
可能



不活性ガスシールドにより造形材料の酸化を防ぎます。

02 積層品質の向上

・フィードバック機能によりメルトプールの状態を
安定化し、　積層品質を向上
・モニタリング機能でメルトプールの状態を記録し
品質トレーサビリティを確保